

令和3年度 教員免許状更新講習 シラバス

講習 番号	10	講習名	【選択⑩】ウィメンズヘルス健康教育講座 －思春期における性教育と健康支援－				
担当講師	開催地	時間数	主な受講対象者	受講人数	講習形式	試験方法	
宮下ルリ子 奥山 葉子 沖西紀代子	三原キャンパス	6時間	教諭（小・中）、養護教諭	20人	対面講義・ 演習	筆記	
開催日	8月25日（水）		予備日	8月27日（金）			
【到達目標】 児童生徒が健康的な生き方を選択するために必要な教育的視点を養い、教員自らが柔軟かつ適切に対応するための教育内容を考察できる。							
【講習の概要】 女性の各ライフステージ（思春期を中心に）の視点から健康について学修する。また、『女性の健康のあり方』について、各自が考える具体的な健康支援について提案できるよう基礎的知識を学修する。さらに、生涯にわたり、子ども達がよりよく生きる選択ができるよう、昨今の性に関する健康問題について意見交換・ディスカッションし、学童期・思春期の児童・生徒および保護者に必要な性教育に求められる知識と教育方法について考察していく。							
【講習の内容】 講義1： 女性の各ライフサイクル各期の特徴と健康課題 （担当：助産学専攻科 助産師・看護師 宮下ルリ子） 女性のライフサイクル（思春期・成熟期・更年期）各期における特徴と健康課題について基本的知識を学ぶ。また、『母性・女性・ウィメンズヘルスケア』の概念を知り、『女性の健康のあり方』について、考察を深める。 1) ライフサイクル（思春期・成熟期・更年期）各期における特徴と健康課題 2) 『母性・女性・ウィメンズヘルスケア』とは 3) 女性の健康とヘルスプロモーション 4) 女性の健康とリプロダクティブヘルス／ライツ							
講義2： 思春期女性の心身の発達－少女から女性へ－ （担当：助産学専攻科 助産師・看護師 奥山 葉子） 子どもが自分自身を大切にす価値観をもって育っていくことができる社会である必要性を確認し、子どもに関わる大人（親・家族、教諭）が第二次性徴を中心とした学童期・思春期の子どもの心と身体と性の健康について基本的な知識について理解を深める。							
講義3： 学校でできる心と体の健康教育（ディスカッションとグループワーク） （担当：看護学コース 養護教諭 沖西 紀代子） 助産学専攻科 助産師 宮下 ルリ子, 奥山 葉子 子どもの健康課題は家庭や地域の状況が大きく影響している。子どもたちの性に関する課題は多様化する傾向にあり、性教育のニーズは高まっている。そこで、学校で行う性教育で取り上げることのできる内容について講義により理解を深める。その後、正しい知識を提供するだけでなく、家族やまわりの大人も巻き込み、関係者が自分事として考えることのできる性教育の展開について検討する。							
【備考】 本講義に関連した日ごろの問題意識を自身で整理しておいてください（提出不要）。主体的な学習を望みます。グループワークには各グループ1台ノートパソコンを貸し出します。試験の際にはノートと配布資料の持ち込みを認めます。							